

都市施設への導入機能と配置イメージの検討

令和3年10月6日

1. 今年度の検討スケジュール

- ・今年度は、都市施設に導入する機能とその規模について、以下のスケジュールで具体的な検討を行う。

第3回委員会（8/3開催）

- 都市施設に導入する機能（案）の検討
- 都市施設に導入する機能の配置イメージの検討 ⇒ 駅舎二層化出来るかで議論が変わるため、第3回は実施していない。

第4回委員会（10/6開催）

- 第3回委員会の振り返り（主な意見とその対応の報告等）
- 駅舎二層化に向けた検討内容の報告
- 都市施設に導入する機能の配置イメージ（素案）の検討
- 都市施設に導入する機能の規模（素案）の検討
- ★本委員会では、各機能の配置場所（都市施設 1 For 2 For高架下）を決めたい。

第5回委員会（11月開催予定）

- 第4回委員会の振り返り
- 都市施設に導入する機能の配置イメージ（案）の確認
- 都市施設に導入する機能の規模（案）の検討

上記の検討結果をまとめた「都市施設の基本構想」を策定

※今年度は、導入機能・規模・配置計画の方向性を決めて、要望書の附帯意見を作成することを目標としている。

※次年度以降、鉄道・運輸機構と協議しながら詳細を詰めていく。

2. 第3回委員会での意見

- ・第3回委員会では、新幹線駅舎の構造に関する意見交換を行った後、都市施設に導入する機能について議論を行った。
- ・第3回委員会での主な意見とその対応を以下に示す。

【新幹線駅舎の構造に関する意見】

- ・倶知安駅で一番大事にしたいのは「羊蹄山の眺望」。駅利用者が、都市施設2階まで移動しやすいよう、駅舎の構造を変えられないのか。

委員会での意見を踏まえ、新幹線駅舎の二層化について、鉄道・運輸機構が検討を実施。

【都市施設に導入する機能に関する意見(1/2)】

《情報発信機能に関する意見》

- ・パンフレット等の情報発信スペースは少なくてもいいのではないかと。10年後を見越して検討していく必要がある。
- ・海外から来た人に観光案内ができるような機能は大事。特に、倶知安駅近隣自治体を含めた、広域的な魅力を発信するような機能は重要。
- ・観光案内所について、複合化する例も多くなっている。例えば、カフェが併設された観光案内所やお土産屋の中に観光案内所が入っている等。単体で示すだけでなく、複合的な利用にも示してもらいたい。
- ・駅に行政機能（機械で住民票等を発行するようなイメージ）があってもいいと思う。

《情報発信機能》

○導入機能について

- ・簡易的な行政機能の配置を検討。

○導入機能の内容・施設配置について

- ・時代のニーズに併せた、情報発信の検討。
- ・羊蹄山麓地域を含めた広域エリアの情報発信を検討。
- ・他の機能と一体とすることも含めた、施設配置の検討。

《物販機能に関する意見》

- ・売店について、ラッキーの売り場みたいなものでいいと思う。商品については、羊蹄山麓全体で考えていけばいいと思う。

《物販機能》

○導入機能の内容・施設配置について

- ・取り扱う商品は、羊蹄山麓地域全体で検討。

《飲食機能に関する意見》

- ・飲食について、テイクアウトができるスペースがあると良い。毎日ではなくても、食に携われるようなスペースがあっても良いと思う。
- ・まずは、立ち食いそばやイトイン等の簡単な軽食・喫茶からスタートすべきでは。
- ・街に出てもらうことも重要だが、吹雪いた時に軽食をとれるような機能は必要。
- ・外国人などは待ち時間にアルコールを飲むことも多い、売上を上げる点では、アルコールが飲めるスペースは必要。

《飲食機能》

○導入機能について

- ・テイクアウトスペースを検討。

○導入機能の内容・施設配置について

- ・アルコールの提供について検討する。
- ・吹雪でも軽食がとれるような施設を検討する。
- ・カフェ・軽食は小規模とする。

2. 第3回委員会での意見

【都市施設に導入する機能に関する意見(2/2)】

《休憩機能に関する意見》

- JR土浦駅のように、人を滞留させることを意識してはどうか。土浦駅では、学生が勉強できるよう1ドリンク性のスペースを設けている。
- キッズスペースとアウトドアのレンタルについては、まち会社準備室として、駅周辺でやりたいという構想を検討中。

《手荷物一時預かり機能に関する意見》

- コインロッカーは、JRが用意して、不足する場合は地元が用意するというようなことを想定。

《その他の意見》

- 町民目線だけでなく、荷物が多い外国人がストレスなく動けるような動線の確保が必要。
- 俱知安らしくアウトドアが楽しめるような機能を設けてはどうか。
- 自転車を使う人などにとっては、シャワールームも必要かもしれない。
- 自転車についても地元が穴場を教えてくれるような機能があれば面白いと思う。
- 駅に行政機能（機械で住民票等を発行するようなイメージ）があってもいいと思う。
- 海外旅行行った時に地元の手料理みたいなものに関心がある。飲食だけでなく、「料理教室」的な学びの機能があったら面白い。
- VIPスペース的には必要だが、本当にできるのかという問題もある。新幹線利用者が、VIPルームを使うのかという問題もある。超VIP層になると、プライベートジェットでの移動になる。
- コインロッカーと表記するだけでは、後々、大型荷物を持った利用者を想定していることが抜け落ちる可能性がある。議論する資料には、明確に明示していくことが必要。

《休憩機能》

○導入機能について

- スタディスペースを検討。
- キッズスペースは、まち会社準備室が駅周辺で構想中であり、調整が必要。

《手荷物一時預かり機能》

○導入機能の内容・施設配置について

- JRに対し、コインロッカー（大型含む）の設置を要望する。

《その他の意見》

○導入機能について

- VIPルームは、都市施設では検討しない。
- アクティビティに関する情報発信等を行う機能を検討する（※まち会社準備室の検討内容を踏まえる必要がある）。
- 駅での賑わい創出にも繋がるよう、学びもできるようなフリースペースの追加を検討する。

○導入機能の内容・施設配置について

- 荷物の多いインバウンド客に配慮した、施設配置計画を検討する。

○その他

- 委員会資料には、機能名だけではなく、これまでの議論がイメージできるような補足説明も記載する。

3. 都市施設に導入する機能・具体施設（案）

・第3回委員会での主な意見とその対応を踏まえ、都市施設の導入機能・具体施設(案)を検討した。検討結果を以下に示す。

●都市施設の導入機能（案）

※赤字：第3回委員会を踏まえた追加・修正事項、緑字：事務局提案事項

導入機能	配置イメージ (案)	具体施設（案）	参考資料
情報発信機能	高架下 (約200㎡)	○観光案内所（コンシェルジュの配置、ツアー客への対応） ※情報発信機能は、他の機能（例：飲食機能や物販機能）と一体とすることも含めて検討する。 ○デジタルサイネージや広域マップ等による情報発信スペース ※情報発信は、時代のニーズに併せて柔軟に対応できるように検討する。 ※情報発信方法が、紙媒体から電子媒体となることが予想されるため、紙媒体の情報発信スペースは小規模とする。 ○行政機能（機械で住民票等を発行する程度） ⇒【提案】広域観光情報やアウトドア情報、待合スペース、荷物の預かり（クローク）等が一体となった、アクティビティセンターを提案。 ※アクティビティセンターの配置については、まち会社準備室との協議が必要。	飯山駅：観光交流センター（約120㎡） 飯山駅：アクティビティセンター（約150㎡）
物販機能	都市施設 1 F (約75㎡)	○売店 ※面積は小規模。羊蹄山麓地域でのお土産・特産品等の販売を検討する。	－
飲食機能	都市施設 2 F (約130～150㎡)	○カフェ・軽食 ※面積は小規模。アルコールを含めた軽食飲食提供について検討する。 ※吹雪でも軽食が取れるような施設を検討する。 ○テイクアウト ※地域の飲食店によるテイクアウト商品を販売。 ※店舗を設けるのではなく、一時的に販売できるようなスペースを設ける。	飯山駅：軽食（約50㎡）
休憩機能	高架下 (約200㎡)	○待合室 ※冬場でも寒くないよう考慮する。⇒アクティビティセンターで対応するイメージ	－
手荷物一時預かり機能	高架下 (約130㎡)	○コインロッカー ※スキーも入る大型ロッカーも置く。 ※鉄道事業者（JR）に対し、スキーも入る大型コインロッカーの設置を要望する。 ○荷物の預かり（クローク）⇒観光案内所（アクティビティセンター）で対応するイメージ	越後湯沢駅：コインロッカー（約50㎡）
トイレ機能	高架下 (約140㎡)	○トイレ ※バリアフリートイレ、授乳室含む。	－
賑わい機能	都市施設 2 F (約200㎡)	○スタディスペース ※人の滞留を意識した、学生が勉強できるスペース。 ○フリースペース ※駅利用者が地域のことを学べるようなスペース（例：料理教室）。 ○【提案】コワーキングスペース（新幹線利用のビジネス客や地域住民の利用を想定） ○【提案】ギャラリー	－
全体	－	※荷物の多い外国人観光客が移動しやすいような動線を検討する。	－

情報発信機能イメージ



北陸新幹線飯山駅：
観光情報＋地域特産品の販売＋休憩スペース(少し)が一体化



北陸新幹線新高岡駅：
観光情報＋地域特産品の販売＋休憩スペースが一体化

カフェ＋眺望スペースイメージ



チョコレートラウンジ・オックスフォード※¹（札幌市）

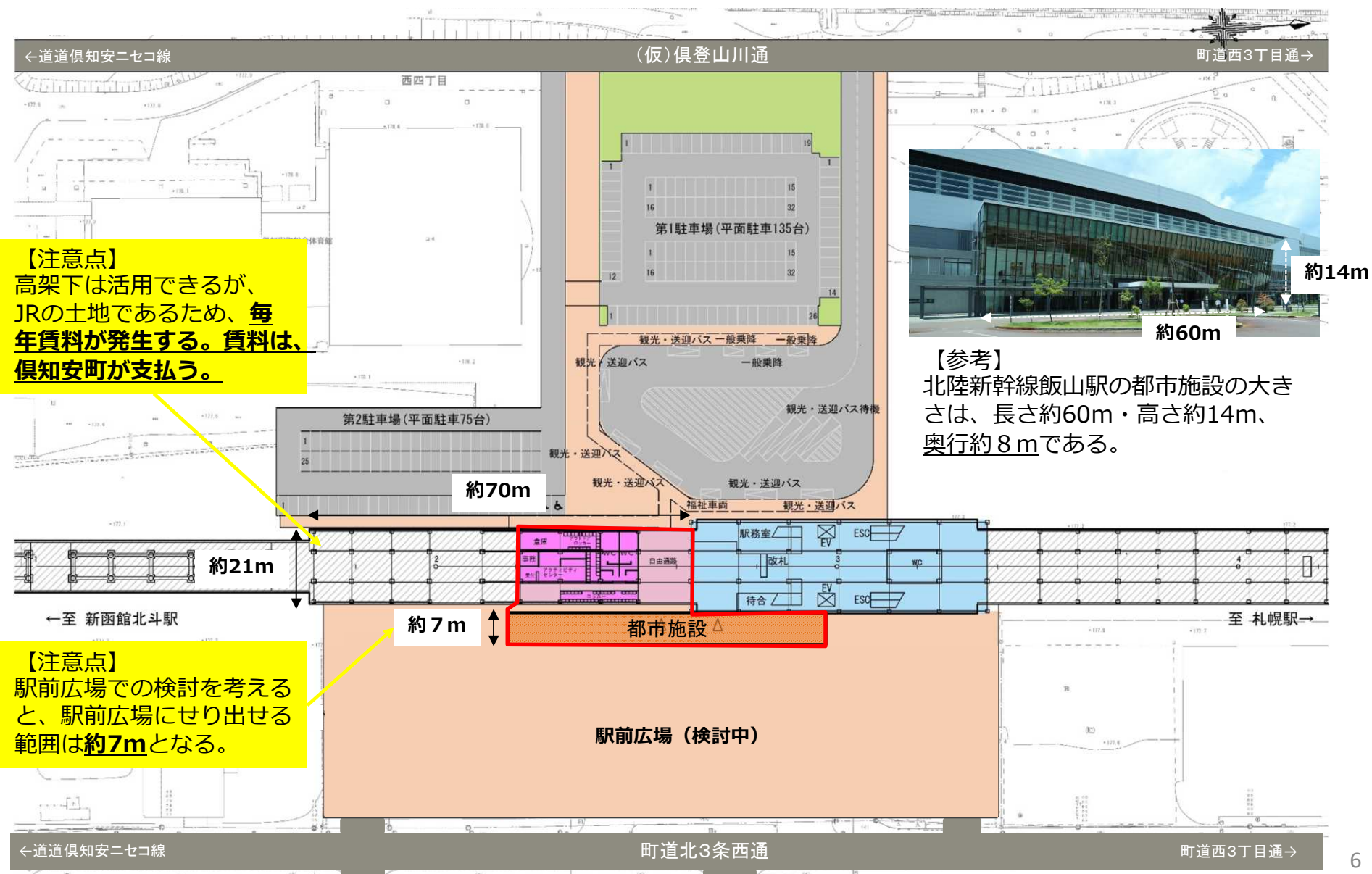
スタディスペースイメージ



JR土浦駅ビル内のスタディスペース※²（茨城県土浦市）

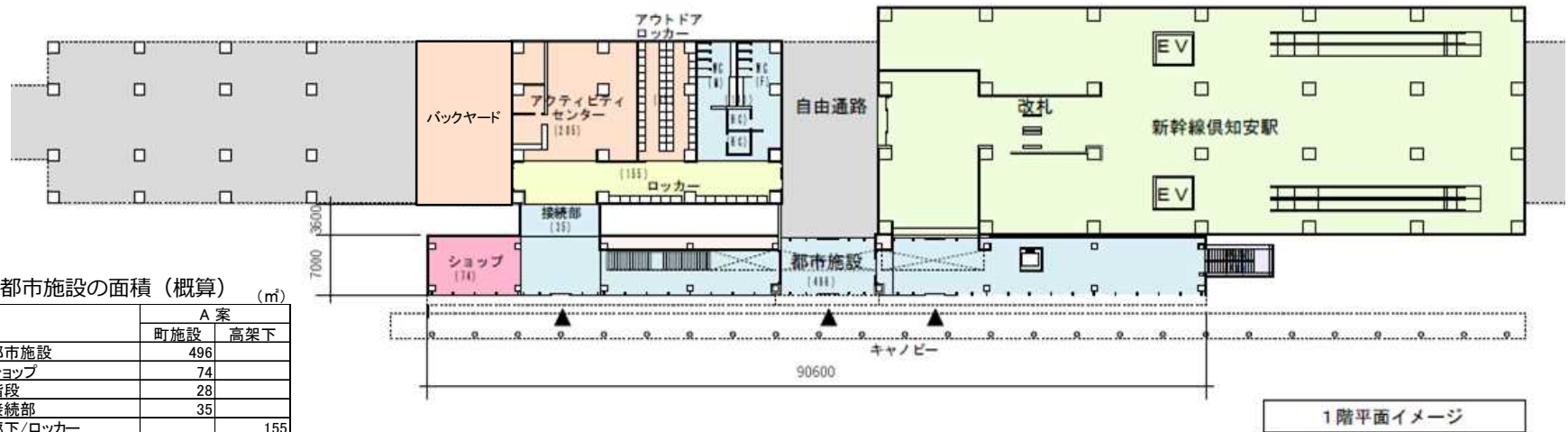
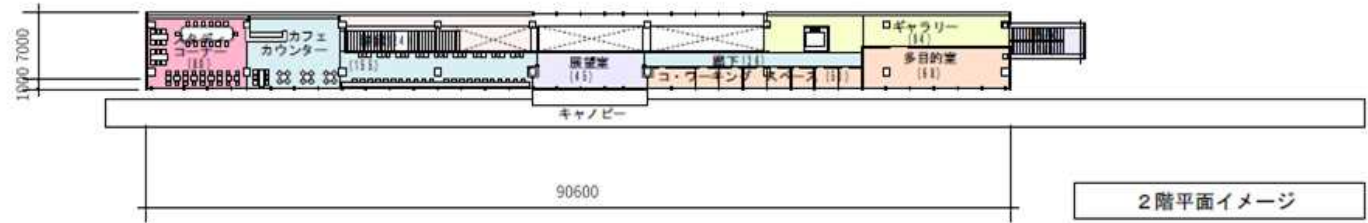
4. 都市施設の配置計画を検討する上でのこれまでのおさらい

- ・現在、俱知安駅の都市施設の整備位置は、高架下+合築に整備する方向で議論が進んでいる。
- ・議論を進めるためのたたき台として、下図の赤枠部分での整備を検討している。整備位置・面積は、まだ決まっていない。



5. 都市施設の配置イメージ（素案）

A案



都市施設の面積（概算）

(㎡)

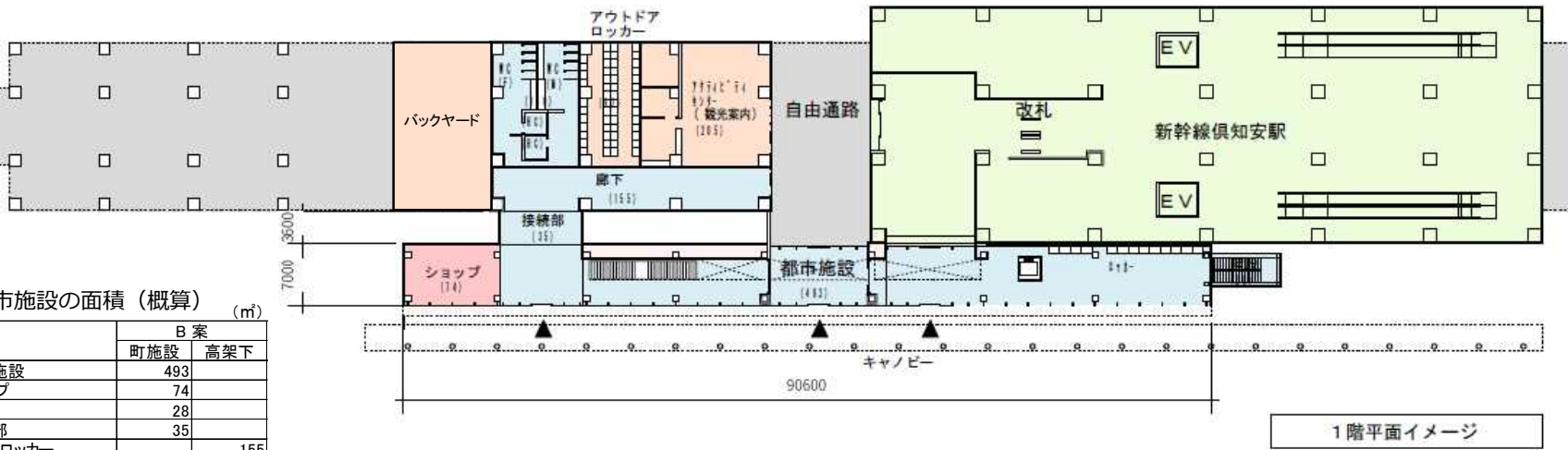
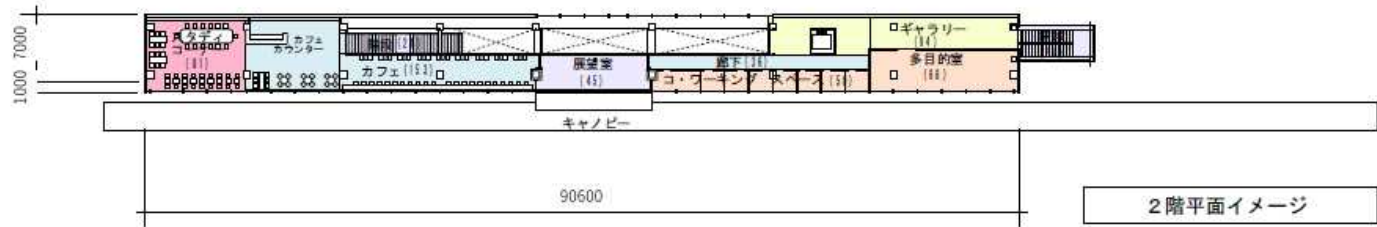
	A 案	
	町施設	高架下
1階 都市施設	496	
ショップ	74	
階段	28	
接続部	35	
廊下/ロッカー		155
アクティビティセンター		205
アウトドアロッカー		95
トイレ		140
小計(施設区分)	633	595
小計(階全体)	1,228	
2階		
カフェ	155	
展望室	45	
スタディコーナー	80	
多目的室	68	
コ・ワーキングスペース	50	
廊下(ギャラリー)	94	
廊下	36	
階段	28	
階段	24	
小計(施設区分)	580	0
小計(階全体)	580	
合計	1,808	

立面イメージ

※新幹線駅舎の外観は、イメージ

5. 都市施設の配置イメージ（素案）

B案



都市施設の面積（概算） (m²)

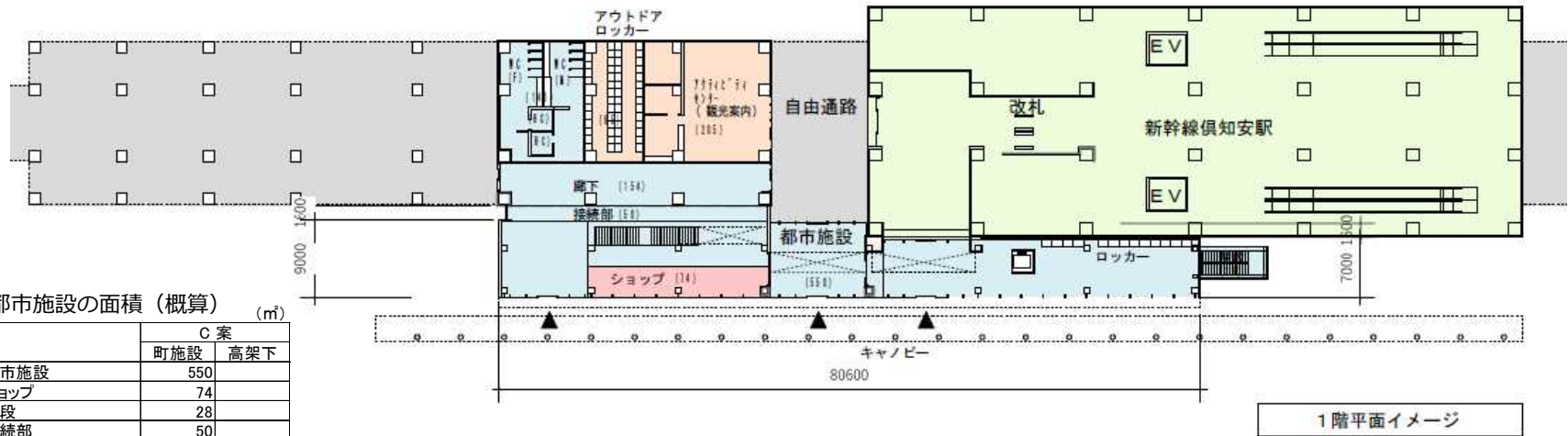
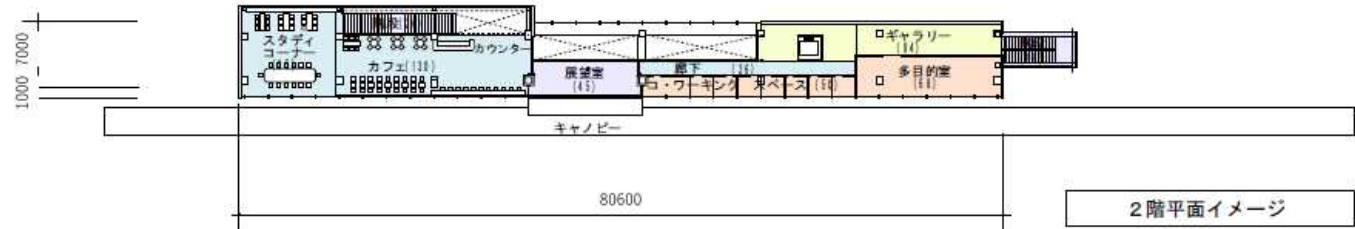
	B 案	
	町施設	高架下
1階 都市施設	493	
ショップ	74	
階段	28	
接続部	35	
廊下/ロッカー		155
アクティビティセンター		205
アウトドアロッカー		92
トイレ		140
小計(施設区分)	630	592
小計(階全体)	1,222	
2階	153	
カフェ	153	
展望室	45	
スタディコーナー	81	
多目的室	68	
コ・ワーキングスペース	50	
廊下(ギャラリー)	94	
廊下	36	
階段	28	
階段	24	
小計(施設区分)	579	0
小計(階全体)	579	
合計	1,801	

※新幹線駅舎の外観は、イメージ

立面イメージ

5. 都市施設の配置イメージ（素案）

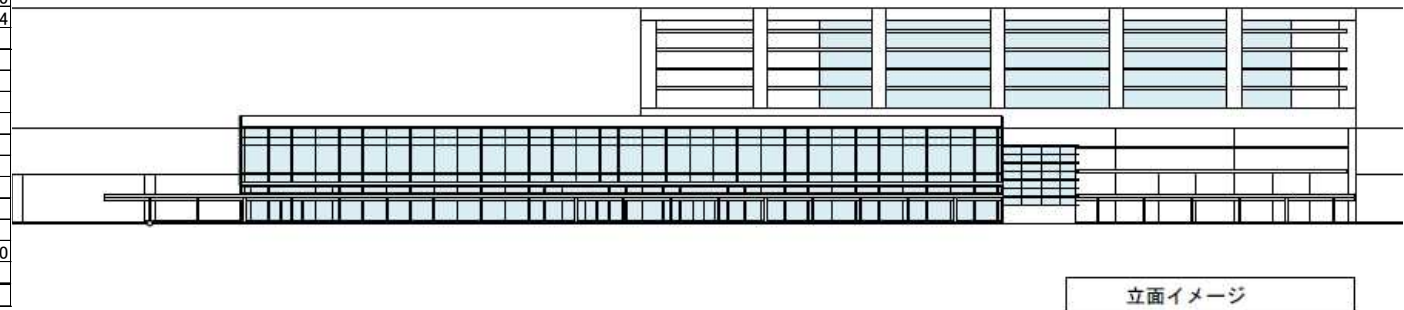
C案



都市施設の面積（概算）

(㎡)

	C 案	
	町施設	高架下
1階 都市施設	550	
ショップ	74	
階段	28	
接続部	50	
廊下/ロッカー		154
アクティビティセンター		205
アウトドアロッカー		95
トイレ		140
小計(施設区分)	702	594
小計(階全体)	1,296	
2階		
カフェ	130	
展望室	45	
スタディコーナー	95	
多目的室	68	
コ・ワーキングスペース	50	
廊下(ギャラリー)	94	
廊下	36	
階段	28	
階段	24	
小計(施設区分)	570	0
小計(階全体)	570	
合計	1,866	



※新幹線駅舎の外観は、イメージ



※本資料はイメージとなります